

供回り防止継手 NES13JKT-KS 取扱説明書

- 本製品は、給水・給湯用配管部材です。
- 本製品をご使用になる前に、以下に述べる安全上の説明をよく読み、内容を十分理解してください。
- 製品の本来の使用方法、および取扱説明書に指定した使用方法・指示手順を守ってください。
- 本書は、いつでも使用できるように大切に保管してください。

注記 指示に従わないと他の財物の損傷や、この製品の故障、損傷、性能不発揮、誤作動などを引き起こす可能性があります。

1. 必要な部材及び工具



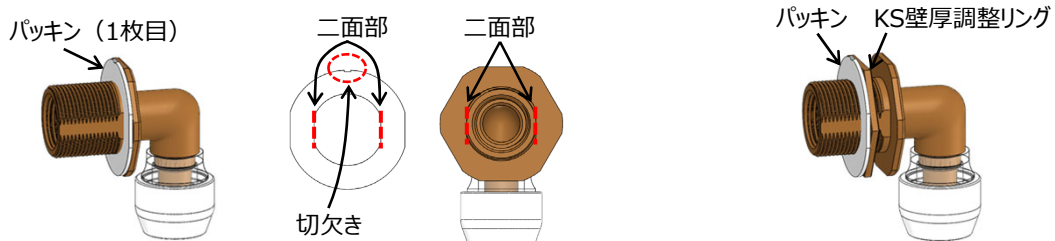
2. 取扱手順

① 継手本体にパッキンを1枚取付けます。

KS壁厚調整リングを使用する場合は、KS壁厚調整リング、パッキンの順に継手本体に取付けます。

- ・パッキンに異物が付着していないことを確認します。
- ・継手本体とパッキンの二面部に隙間が無いよう、向きを揃えて取付けます。(パッキンの切欠きが真上にあることが目安です。)
- ・1枚目のパッキンが壁裏側に接触するように取付けます。

KS壁厚調整リングを使用する場合は、パッキンとKS壁厚調整リングが接触するように取付けてください。



KS壁厚調整リングを使う場合

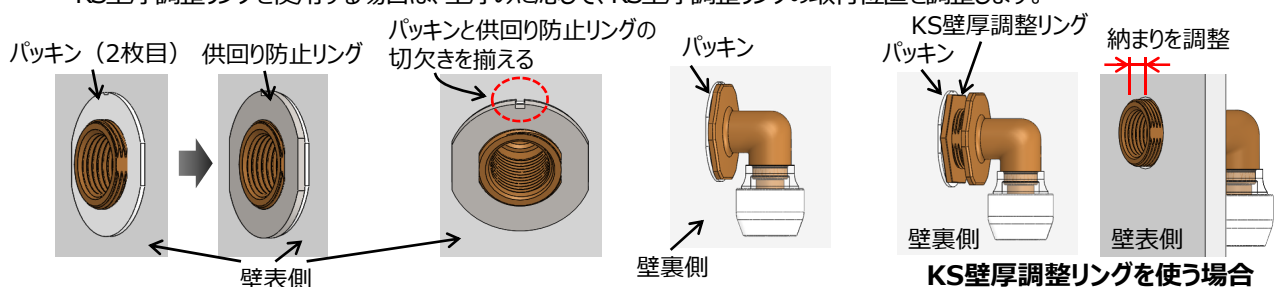
② 壁に開けた穴に壁裏側から①の継手本体等を取付け、壁表側に2枚目のパッキンと供回り防止リングを取付けます。

注記 パッキンに異物が付着していないか確認します。異物が付着している場合、止水性能が低下し、漏水する可能性があります。

注記 壁表側に異物が付着していないか、大きな凹凸がないか確認します。止水性能が低下し、漏水する可能性があります。

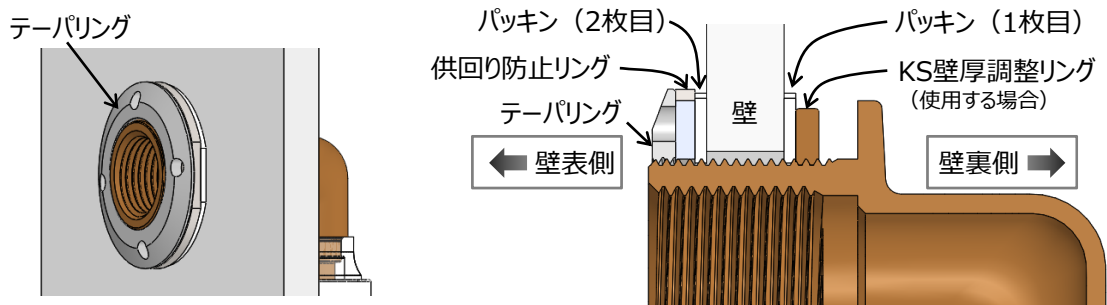
注記 パッキンと供回り防止リングの切欠きを揃えて取付けます。(パッキンの切欠きが真上にあることが目安です。)
 切欠きを揃えない場合、継手とパッキンの間に隙間が生じ、壁裏側へ漏水する可能性があります。

- ・2枚目のパッキンが壁表側に接触するように取付けます。
- ・壁の穴径はΦ30mmを推奨します。
- ・対応可能な壁厚みは最大18mmです。KS壁厚調整リングを使用した場合の対応可能な壁厚みは最大11mmです。
- ・KS壁厚調整リングを使用する場合は、壁厚みに応じて、KS壁厚調整リングの取付位置を調整します。



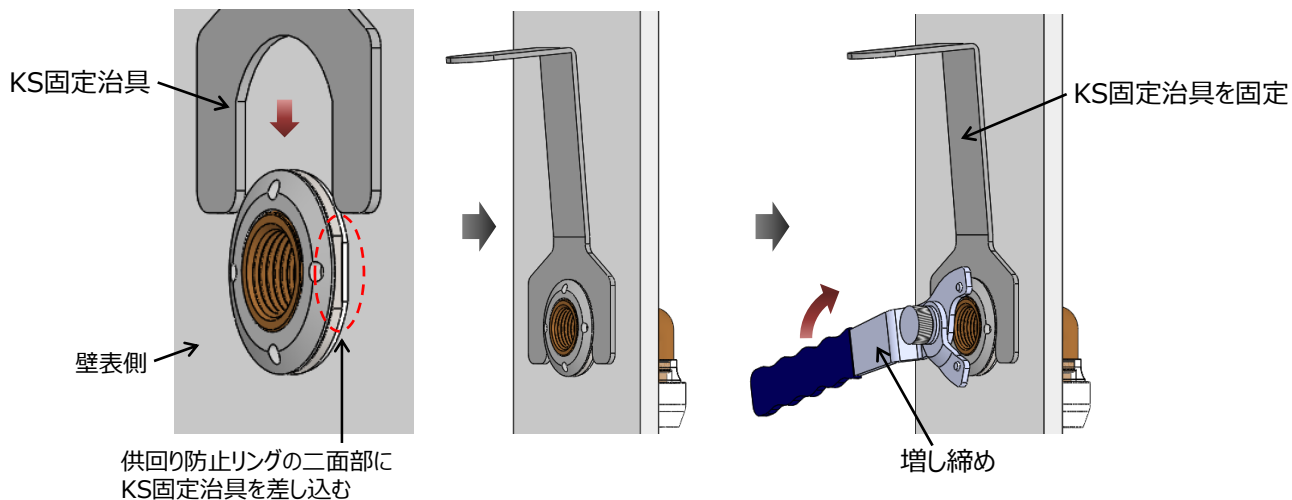
③ 壁表側からテーパリングを手で仮留めします。

- ・ テーパリングの向きに注意してください。テーパが見える方向が手前となるようにねじ込みます。



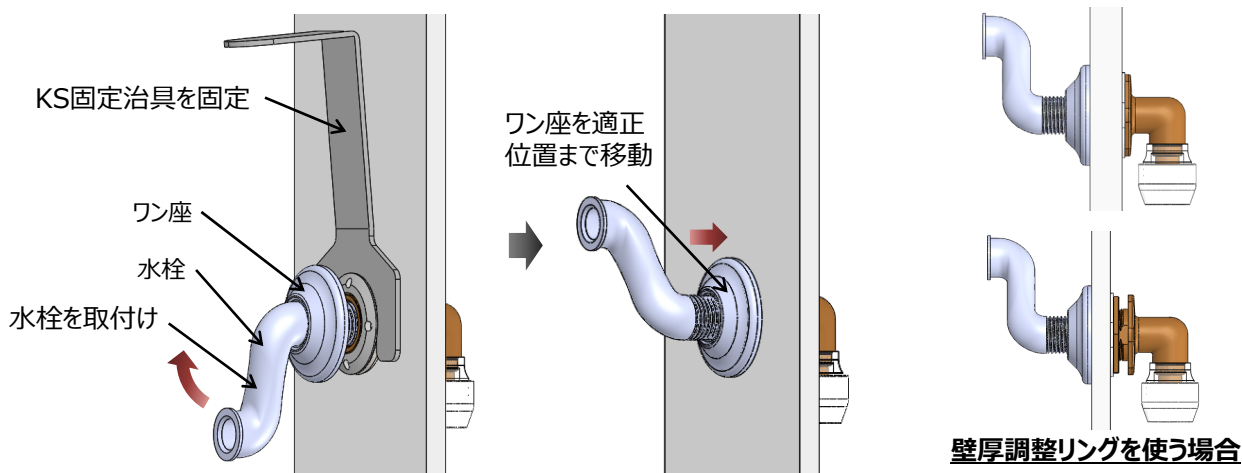
**④ 供回り防止リングの二面にKS固定治具を取付けます。
KS固定治具を固定した状態でアジャストピンレンチで増し締めします。**

- ・ 締め込みの際は、壁表側を傷つけないように注意してください。
- ・ KS固定治具を固定しないと継手が供回りする場合があります。
- ・ テーパリング表面から継手ネジ部分の出代が大きい場合、ワン座に納まらない場合があります。



⑤ KS固定治具を固定した状態で水栓を取付けた後、KS固定治具を外し、ワン座を適正位置まで移動します。

- ・ KS固定治具を固定しないと継手が供回りする場合があります。



プッシュマスターの接続作業については、プッシュマスターカタログ記載の『パイプ接続手順』『注意事項と参考資料』に従って作業を行ってください。